

スポーツ中継の実情について

1.現在のスポーツ中継で問題に思ったこと

最近野球やサッカーの中継を見て思ったことを率直に書いてみました。得点シーンやおいしいシーン、ピンチやチャンスのシーンのときに、すごく盛り上がっていて、これはこれで見ている人はエキサイトできるのでいいと思います。しかしそれ以外のプレーは、放送においてそこまで重視されず、にぎやかなプレーだけが注目され、スポーツの魅力や選手が見てほしいところなど、そういったことが疎かになりがちです。新聞などでも、複数の新聞の記事にある写真を見ても、同じようなものであります。カメラマンの撮影場所はあらかじめ規制されているという事情もあることでしょうか… 番組構成上、番組の始めはわかりやすく試合経過を解説し、番組の終わりは競技等が途中でもその競技についてまとめのコメントを入れる場合が多いです。解説者によって差が激しく、結果には出てこないものでも、試合を通じてのプレーの魅力もあります、それをなかなか伝えられていないかなと思います。

あと以前に比べて、特定の選手のことを持ち上げ、大げさに宣伝し、芸能人を使ってバラエティと同じように大騒ぎをするようになってしまっています。さらに、相手チームや相手選手のことは眼の敵のように言うこともあります。昔はそこまでではなかったのですが… これでは本当にスポーツ中継というよりはバラエティ番組になってしまっています。この背景としては、視聴率ありきで番組を作っているからでしょう。特に今の時代は資本主義・成果主義ですからね。見ている視聴者を退屈にさせないためにそうしているでしょう。確かに視聴者は結果だけを求めているのが現状であるかもしれませんが、しかし、メディアの主役であるテレビが、視聴者に結果以外にもスポーツの魅力などを伝えるべきであると思います。そうすれば、視聴者も意識が変わり、いかなる結果だろうともみるはずで、それいぜんに、スポーツはやってみないと結果が分からないものでもあります。それも含めてテレビ局は番組を制作するべきだと思います。とはいえ、番組を製作者、または選手たちもスポーツ中継をするために様々な努力は行なわれていますので、それを見る必要があります。

2.スポーツ中継をするための努力

まず、放送をつくる側についてみてみます。取材を行うには、ルールブックを読み、キーパーソンに顔を覚えてもらい、それによって、競技特性や中心選手やコーチや専門家が発する言葉の意味などを理解する必要があります。そして現状の取材に関する問題点は、プロスポーツにおいて選手の声聞くことが難しいことです。その対策としては、元選手をキャスターとすることによって、選手の情報をたくさん手に入れるように努力しています。しかし取材者側はもっとすばらしい内容を放送するために、選手側へ取材の公平性と契約の成立のほか、現状の取材には限界があるので、選手側だけでなく、取材者側の取材に関する決定権を求めています。このように様々な選手たちを取材し、選手を通じて競技の魅力・スポーツの魅力を伝えようとする工夫はしています。

次に取材される側についてみてみます。過去にアトランタオリンピックの時に選手の、

報道陣への対応が悪いといった問題が起きていました。そこでその対策として、選手たちに対して、報道する側の立場と、記者への受け答えの指導を行いました。その方法としては、ジュニアの合宿から、マスコミ関係者を招いて講義を行うことや、メディア対応のガイドラインを作成して、それを選手に読ませることなどがあります。そしてメディア対応のガイドラインには、メディア対応の際に忘れてはならないことは、真の聴衆の存在であることや、自らの発言には重みがあることや、誠実に答えることや、答えられない質問は答えなくていいなどの内容が書かれています。それからメディア側は選手に対して、事前に承認を得たものを除いて、肖像の商業的利用の禁止や、大会関係者はメディア・ジャーナリスト活動の禁止などといった内容です。選手側からマスコミへ求めることは、強化過程を深く理解していただくために、できるだけ長く競技を見てほしいことや、紳士協定を守ってほしいとのことです。また、マスコミを利用して、選手たちを教育したり、強化したりすることがあります。マスコミを利用した具体的な強化方法は、練習に緊張感をあたえることによって、精神力を鍛えるなどがあります。これによって、選手たちも良い結果が出せられるようにがんばっています。

3.スポーツ中継のあり方について

最後にスポーツ中継のあり方について考えました。

そもそも選手は、自分のいいところを見せようとする人が多いです。したがって、選手は競技において良い成績をできるだけ出したいと思っています。そしてそれを実現させるには、やはり自分のペースで練習したいと思うので、できるだけ取材の時間を短くしたほうがいいと思います。ただし、選手には多くのファンがいるので、少しの時間でもいいから記者会見などを行い、マスコミを通じて選手は自ら注目してほしいことを教える必要があります。その際にマスコミ関係者は、選手たちの日程に合わせて、選手たちに質問するときは、誠意をもって行わなければならないと思います。そうすることによって、当日の競技中継は、見どころが分かりやすく、その選手の特徴の理解が容易になって、ファンも納得のいくものにすることができます。また、今までその競技に興味がなかった人も、興味をもてるようになることがあります。このようにスポーツ中継は、選手側中心に考慮したものとし、そうすることでファンにもその競技の魅力を伝えながら、ファンも一緒に楽しめるようにするべきであると思います。スポーツ中継は選手とメディアが協力して行なうことが大切であります。